

～正しいローソクの知識～

停電時に自宅にローソクがない場合の手段として

「サラダ油」を使って灯りをとる方法が注目されています。

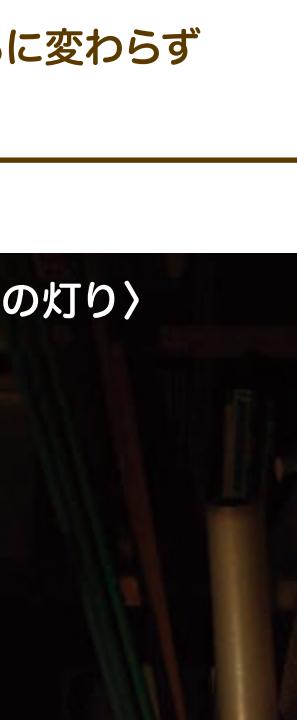
緊急時のライフハックとしてはとても有効なこの方法を、

実際に試して「ローソクの灯り」と比較してみました。

災害時の「正しいローソクの取り扱い方」も

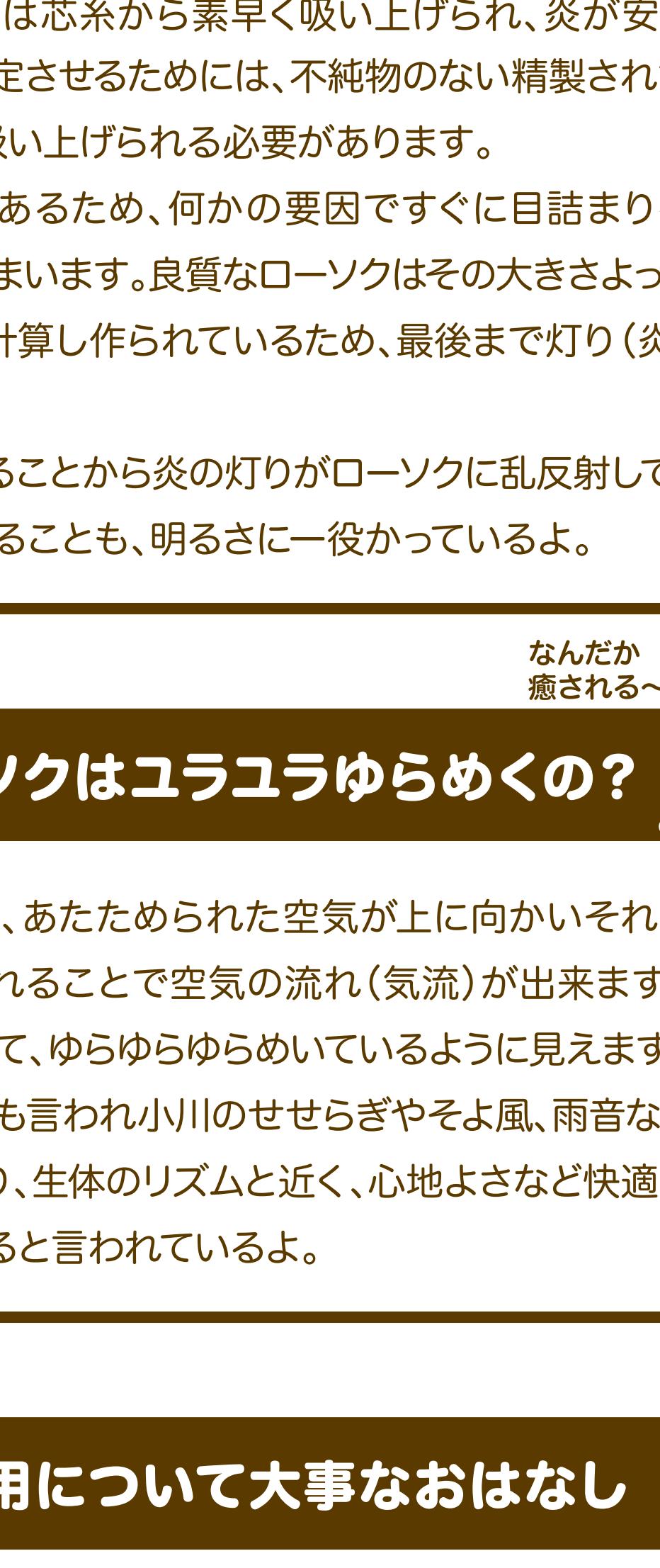
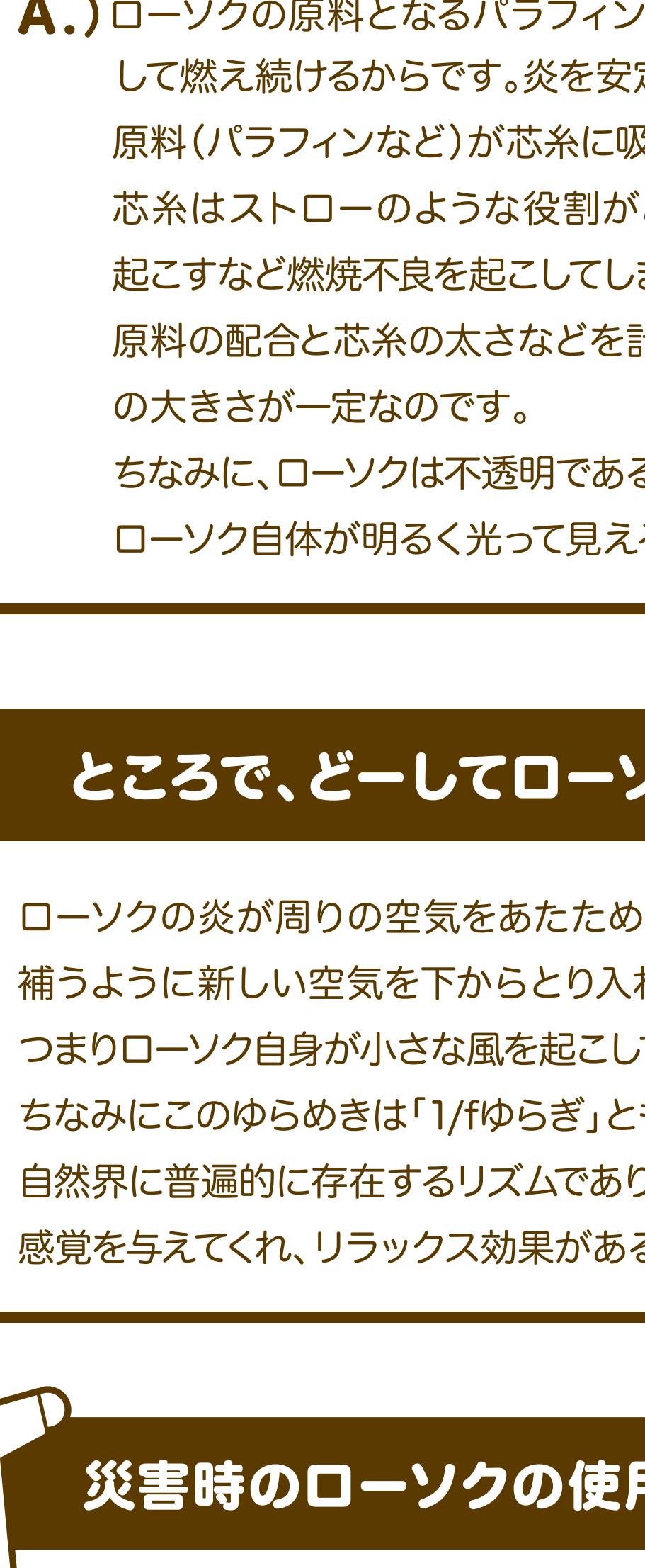
ご紹介していますので、

この機会に是非チェックしてみてください。



比べてみました! 「サラダ油の灯り」と「ローソクの灯り」

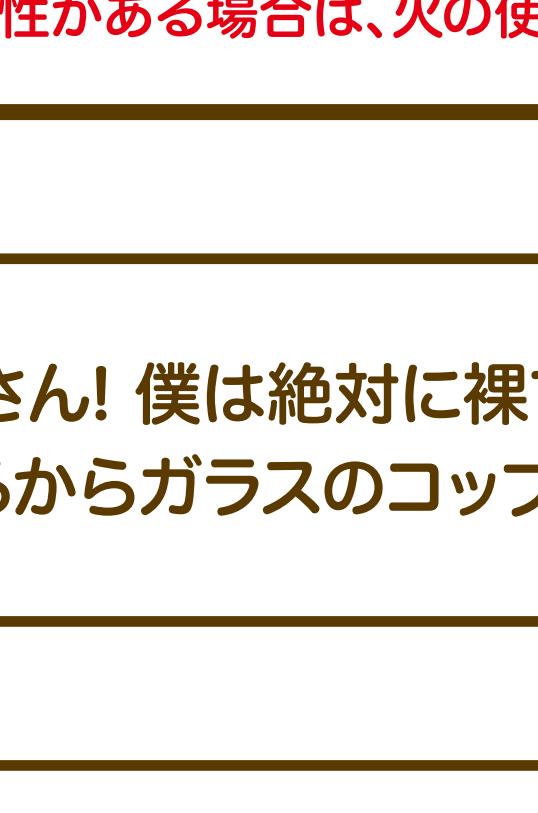
	サラダ油の灯り	ローソクの灯り
点火から30分		同程度の明るさ
3時間後	炎が小さくなり、先端に黒いスス(カーボン)が付着しているのがわかる。照らす範囲も狭くなっている	炎の大きさ、明るさともに変わらず
7時間後	更に炎が小さくなり、種火のように周囲は暗い。	炎の大きさ、明るさともに変わらず



（わかったこと）

ローソクの灯りはずっと明るいまま。サラダ油の灯りはだんだんと炎が小さく暗くなる。

同じ灯りなのに不思議!
そこで、カメヤマ研究室の
“くまさん”こと、熊谷さんに
質問してみたよ!



・同じガラスのサイズで検証
・左:サラダ油の灯り
<https://www.jp-guide.net/bousai/emergency/lamp.html> 作り方参照
右:非常用コップローソク(マッチ付) ¥500(税抜)
※油性ペンでローソクくん似顔絵

Q.) どうしてローソクはずーっと明るいの?

A.) ローソクの原料となるパラフィンは芯糸から素早く吸い上げられ、炎が安定して燃え続けるからです。炎を安定させるためには、不純物のない精製された原料(パラフィンなど)が芯糸に吸い上げられる必要があります。

芯糸はストローのような役割があるため、何かの要因ですぐに目詰まりを起こすなど燃焼不良を起こしてしまいます。良質なローソクはその大きさによって原料の配合と芯糸の太さなどを計算し作られているため、最後まで灯り(炎)の大きさが一定なのです。

ちなみに、ローソクは不透明であることから炎の灯りがローソクに乱反射して、ローソク自体が明るく光って見えることも、明るさに一役かっているよ。

ところで、どーしてローソクはユラユラゆらめくの?

ローソクの炎が周りの空気をあたため、あたためられた空気が上に向かいそれを補うように新しい空気を下からとり入れることで空気の流れ(気流)が出来ます。つまりローソク自身が小さな風を起こして、ゆらゆらゆらめいているように見えます。ちなみにこのゆらめきは「1/fゆらぎ」とも言われ小川のせせらぎやそよ風、雨音など自然界に普遍的に存在するリズムであり、生体のリズムと近く、心地よさなど快適な感覚を与えてくれ、リラックス効果があると言われているよ。



災害時のローソクの使用について大事なおはなし

① 災害時には倒れやすい神仏用ローソクのご使用はお控えください。

② ガラスなど不燃性の容器に入れる、もしくは容器に入ったローソクをご使用ください。

③ ローソクのそばを離れるときや、就寝の際には必ず消火されていることを確認してください。もちろん、燃えやすいものの近くでの使用もお控えください。

※ガス漏れの危険性がある場合は、火の使用は厳禁です。



ありがとう、くまさん! 僕は絶対に裸で歩かないぞ!
みんなが安心するからガラスのコップにも入ろうっと♪

ローソクくん、
君の側を離れないぞ!

それから、万が一神仏用ローソクしかない場合もあると思うんだ。そんな時は、ガラスなど不燃性の容器に入れて絶対に僕の側から離れないで!

そばに人がいてくれると僕は安心できるんだ!

これで
大丈夫♪

ところで普段から災害用として常備しておくのに
おススメのローソクはありますか?

非常用ローソク

ガラス製で24時間燃焼するよ。

マッチ付なのがポイントです。

ティーライトティン

燃焼時間は5時間だけど、ご自宅にあるガラス

のコップなどに入れていろんな場所で灯り

とりが出来るよ。

グラス入りアロマキャンドル

最初からローソクが注がれた器に入っている

ので安心して使っていただけるよ。

何よりアロマの香りが災害時の緊張状態

をリラックスさせてくれるよ。普段から

リビングに置いておくといざという時に

探さなくてもいいのもおススメの理由だよ。

カメヤマの
インターネット
ショップで
貰えるよ!

ありがとう! 何かあってからでは遅いので、ふだんから
ローソクを準備しておくようにします!

そうだね、最低3日分くらいは常備しておけるといいよね!

くまさん感激♥SNSに寄せられた声 “あってよかったローソクの灯り” →

「停電時にローソクの灯りで一家だんらんを…そんな心温まるお話し →